

デュシタニ京都



所在地	京都市下京区
設計・監理	戸田建設株式会社 一級建築士事務所
施工	戸田建設株式会社 大阪支店
竣工年月	2023年5月
構造	RC造、S造（一部SRC造）
規模	地下2階/地上4階
延べ面積	17,359.24 m ²
用途	ホテル・地域施設

BPI	0.88
BEI(創エネを除く)	0.64
BEI(創エネを含む)	-
ZEBランク	ZEB Oriented

西本願寺の門前町にある元京都市立植柳小学校跡地の有効活用としてのプロポーザル提案事業である。タイのグローバル企業が日本初出店する最上級ホテルブランド「デュシタニ京都」と、歴史を継承し地域活動の拠点の「植柳コミュニティセンター」が、日本とタイの伝統文化が織り交ざった建築として京の町並みに溶け込み完成したものである。

地域産木材活用と景観の調和 日射遮蔽による熱負荷低減と京都の町並の中心地に建つことから周辺の視線制御を目的として地域産木材を活用した外観構成とした。ラグジュアリーホテルとしての快適性を目的としてLow-E複層ガラスとアルミ樹脂複合サッシを採用し、開口部の断熱性を向上させている。

水熱源パッケージ空調方式の採用 計画当初は通常採用される中央熱源空調方式で計画していたが、イニシャルコストやランニングコストへの優位性、設備の省スペース化、景観への配慮から、水熱源パッケージ空調方式を採用した。水熱源パッケージ空調方式で、屋外に設置する必要のある機器は、冷却塔のみであり、「京都市中心部での建築計画における景観への配慮」という課題へ貢献する設備システムとなっている。また、水冷パッケージ空調方式は省エネ性にも優れており、ZEB Oriented の認証取得に大いに寄与する結果となった。